

製品名: 5T4 (9W4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06346**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,IF-P 1:200-1:1000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	TPBG
別名	TPBG; 5T4; 5T4-AG; 5T4AG; 5T4 oncofetal antigen; M6P1; Trophoblast glycoprotein;
遺伝子 ID	7162.0
SwissProt ID	Q13641
免疫原	ヒト 5T4 の合成ペプチド

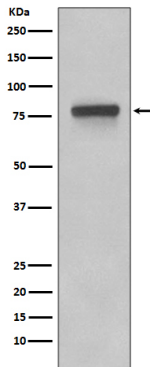
背景

5T4 は 72 kDa の膜貫通型糖タンパク質で、ヒトおよびマウスの成体組織において限定的な発現を示し、多くの癌腫で発現が上昇しており、腫瘍発現は卵巣癌、胃癌、大腸癌における臨床転帰不良と関連している。mES 細胞では 5T4 抗原の細胞表面発現が欠如しており、分化誘導後、タンパク質と mRNA の両方が急速に上昇する。このタンパク質の発現は、OCT-4 および Tra-1-60 の発現低下と関連している。LRP6 と間接的に相互作用し、Wnt3a 依存性の LRP6 の内在化を阻害することで、Wnt/ β -カテニンシグナル伝達の阻害剤として機能する可能性がある。

研究分野

幹細胞

画像データ



Caco-2 細胞溶解物における 5T4 発現のウェスタン ブロット分析。